

# あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校



## 年頭に「校風」を考える

校長 福田 晴一

**新年**、あけましておめでとうございます。

天皇陛下の生前退位に関わり、年号「平成」も今年と来年の数か月となりました。人工知能(AI)の台頭と加速化するグローバル化に伴い、予測不可能と言う新しい時代の幕開けです。この3月には、天沼小学校第10回卒業式が挙行されます。この10年、本校の教育活動で成長した子どものエビデンスの証とも言えます。天沼小学校の「校風」を背負った卒業生と言っても過言ではありません。

**古い話**となります。よく校風の例として挙げられる「パンカラな大学」とか、対比して「ボンボンな大学」などがあります。天沼小学校の開校時の井出教育長の式辞に「杉並区初の統合新校としての校風を期待します…」と、メッセージがあったそうです。それから10年の年月を経た今、天沼小学校の校風らしき姿はどのように、保護者の皆様に、地域の方々に映っているのでしょうか。「校風」とは、学校の雰囲気であり、子ども達、教職員、保護者の多くに共通として見られる特徴や特性、傾向だと言われています。そして、その校風は無意識のうちに児童に、所属職員等に感化を及ぼすものと考えます。

**約**600名の児童を見ると、「何事にもポジティブに挑み、努力を惜しまず全力で取り組む、メリハリのある子ども達」と捉えています。地域の方々からは「挨拶励行」も評価されつつあります。昨年度の周

年関連行事では、底力のようなパワーを高学年は見せつけてくれました。私が、この五年間でよく口にする「すごいぞ、天沼」も、校風の基盤であったと認識します。まだ今年度の教育活動を終えたわけではありませんが、開校10周年の節目、私は天沼小学校の校風を「たくましく、しなやかに」とイメージしています。もちろん、子ども達だけの校風ではありません。そこには、教職員の児童理解や努力、一体感に裏付けられる自信もあります。そして、保護者の協力支援、共感と地域連携も大きなファクターとなっています。この「たくましく、しなやかに」は私見としてたたき台にして、来年度に向けて職員会議、学校運営協議会、そしてPTA運営委員会でも話題に挙げ、わが母校「天沼小学校の校風」を考えていきたいと思います。

**校風**をみんなで考えることは、地域の宝である次世代を担う子ども達への期待であり、地域自治のプラットフォームとしての統治体である公立学校の役目でもあると考えています。地域の宝は、学校だけでは育むことはできません。保護者・地域と共に歩む地域立学校が、予測不可能と言われる次世代に求められる学校スタイルではないでしょうか。天沼小学校は、10周年を終え、20周年に向け地域立学校として新たに始動します。

**どうぞ**、本年も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

### ＊＊ 今月の目標 ＊＊

#### 生活

礼儀正しく過ごしましょう

#### 保健

かぜをふせごう

#### 給食

食事のマナーをきちんと身につけましょう

# 1月の行事予定

日	曜	行事予定
1	月	元日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	冬季休業日終
8	月	成人の日
9	火	5時間・始業式・給食始・PTA安全点検
10	水	4時間+委員会⑨・読書 56
11	木	2年生木曜6時間授業開始・安全指導
12	金	かけあし 146
13	土	3時間・土曜授業・給食なし・AKA百人一首大会6
14	日	
15	月	全校朝会・避難訓練・クラブ活動⑫
16	火	天沼FP235・地下開放中止始
17	水	特時 B
18	木	集会・校内書初め展始
19	金	天沼FP146・特別支援連合作品展始
20	土	
21	日	
22	月	5時間・全校朝会・防災館見学4
23	火	かけあし 235・校内書初め展終・ハピスタ・特別支援連合作品展終
24	水	特時 B・地下開放中止終
25	木	集会・たて割り班活動
26	金	5時間・天沼 FP146
27	土	2時間・ICT フォーラム・給食なし
28	日	
29	月	健康朝会・クラブ活動⑬・読書週間始
30	火	校内百人一首大会
31	水	読書 23

## 学校支援本部コーナー



天沼小学校支援本部(あまぬまワンドラーズ)の活動を紹介します

### 伝承遊びを通して

毎年この時期になると、1,2年生は伝承遊びを体験します。天沼8町会の皆様のご協力をいただき、先日も17名の方々がご参加くださいました。

お手玉やはねつき、コマにメンコなど昔の遊びに触れながら、地域の皆様と一緒に遊びます。「すごいね」「上手だね」と声をかけていただくと、子どもたちの顔が自信に満ちた表情に変わっていきます。低学年の子どもたちにとっては、この体験が地域の皆様とかかわり、つながっていく最初の一歩になるのではないかと思います。

支援本部はこれからも学校と地域をつなぐお手伝いをしていきます。



### 【校内百人一首大会】

#### 1・2校時

各学年、参観が可能です。開催時間と場所が異なりますので、学年によりご確認ください。

※写真等撮影はご遠慮ください。

## 学校運営協議会コーナー

### ～学校評価アンケートのお願い～

学校運営協議会では毎年1月に児童・保護者・教職員・地域の皆様を対象に「学校評価」のアンケート調査を行っております。これは学校運営方針に基づく天沼小学校の様々な取組について皆様からのご意見をいただき、その結果を受けて一年間を振り返るとともに、次年度の学校運営に生かしていくというものです。

今年度の天沼小学校の教育活動は「『ほんもの』に触れる体験学習」「地域の教育資源を活用した学校経営」を学校の基本方針として掲げて取

り組む中、基礎学力の定着、豊かな人間性の育成、心と体の健康づくりなど21項目を設問として作りました。

新年早々には今年度のアンケートを配布させていただきますので、5月にお配りした「『天沼小学校が目指す教育のご紹介』と『学校評価』について」を参考にしながらご回答ください。

学校運営協議会は地域とともにある天沼小学校の教育をさらに充実させるべく、進んでまいりますのでご協力をお願いいたします。

## キャリア教育

1 わん

2年生に教えてもらいうながら、紙すきを行い、牛乳パックからはがきを作りました。フィルムをはがして、細かくちぎる作業も、楽しみながら協力することができました。

ミキサーでどろどろにしたら、いよいよ紙すきです。紙すきは、縦割り班で同じ班の2年生と作業をしました。どろどろになった紙を、歓声を上げながら触っていました。2年生が丁寧に教えてくれたので、形を整えながら、きれいに作り上げることができました。乾かして、はがきの完成です。自分で作り上げたはがきを、慎重に板からはがしていました。今回の経験を、今後の活動に活かしていくように指導していきます。



3 わん

11月28日、30日、12月1日の3日間にわたり、3年生が教会通り商店街で「お店番体験」(総合的な学習の時間)の授業を行いました。本番を迎えるまでに、お店の方にインタビューをしたり、天沼中学校2年生からマナーについて教わって練習したりとたくさんの準備をしてきました。その成果として、本番はたくさんのお客様が来ても、堂々と接客することができました。

「実際のお店で商品を売る」という本物の体験ができるのは、地域の商店会のご協力があるからです。忙しい時間帯にもかかわらず、天沼小の子どものために毎年協力していただることにとても感謝しています。この学習を通して、「働く」という貴重な体験をするだけではなく、地域とのつながりも深めるきっかけとなりました。地域と学校が一体となって子どもたちを育てられる天沼地域は本当に素晴らしいです。



2 わん

昨年度、今の3年生に教えてもらった「紙すき」をいよいよ1年生に教える立場となりました。教えるために、昨年度の復習をして、見通しがもてるようになります。復習の時には、やり方を少し忘れていたり、自分たちが夢中で楽しんでしまったりもしましたが…。いよいよ教える時間。『1年生が「わかりやすく」「楽しんで」紙すき体験ができるように』という合言葉のもと、グループの仲間と協力して1年生に教えました。教える立場になること、縦のつながりを意識することは、人間関係形成・社会形成能力を高めることにつながっています。

4 わん

総合的な学習の時間で「様々な人の関わり」という学習をしました。様々な立場の人人がいることの理解を深めるために、ゲストティーチャーをお招きしてお話を聞いたり、体験をしたりしました。視覚障がいの方との「点字体験」、身の回りの物をデザインした「ユニバーサルデザインを考えよう」、ウイルチェアラグビーの体験をした「パラリンピアンがやってきた」などの授業を行いました。誰にとっても使いやすくなるようなものの工夫に気づき、自分だけでなく他の人のことを考えて生活していくことの大切さを学びました。

5 わん

5年生が4月から取り組んでいるAKP。グループごとに売りたい商品を決めて開発してきました。地域の専門家の方たちを招いて商品の品評会を行うと、認めていただいた点もありましたが、それ以上に厳しい評価を受けることになりました。そこから子ども達は、「お客様のための商品開発」の必要性を学び、市場調査で調べたお客様のニーズを反映させてさらなる改良を進め、今年度は「石けん」を販売することに決定しました。たくさんの人たちから助言をいただいたことで、自分本位ではなくより多くの人の立場に立って考えることの大切さを学ぶことができました。間違いない将来生きすことのできる力を身に付けられました。



## 1月27日（土） 天沼小 ICT 教育研究発表会

本校は、杉並区教育課題研究校に指定されて4年、一昨年は東京都の放送教育研究大会の会場校として、昨年は全国のICT・放送教育の全国大会の会場校として、発表をしてきました。そして、本年度はタブレットの活用を中心に、杉並区をはじめ、全都・全国に向けて、研究成果を発信します。

保護者・地域の皆様、どうぞご参観ください。

### 研究主題

#### 『自ら深く考え表現する子どもの育成 ～プログラミング的思考と情報モラル～』

予測不可能な時代に生きる子ども達に、受け身ではなく主体的に向き合い関わる姿勢と、よりよい社会と豊かな人生の創り手となる力を育てるために、本校では、日常の学習の中で「考えることが楽しい」と感じられる教育を実践しています。



⇒2年プログラミング  
歯磨きの手順について、  
分解したり並び換えたり  
しながら、考えました。



3年プログラミング  
計算の習熟で、ペツツ  
(ロボット)を使って数字  
を集めながら考えました。

4年情報モラル授業⇒  
LINEのスタンプで  
受ける印象について  
考えました。



### アクセルとブレーキ論

情報教育をより良い方向に進めていくための手立てが、プログラミング的思考であり、情報モラルです。車で例えるなら、アクセルとブレーキです。アクセルとは、より快適な運行を支えるもの。ブレーキとは、暴走を止めるもの。何もない台車だと、情報の急流の中で、加速し方向を失い、大事故になりかねません。アクセルとブレーキが相互に作用して、安全な走行が出来るのです。

本校では、この観点で、年間を通して児童にプログラミング的思考と情報モラルを並行して育てていきます。

### 1月27日の午前は校内向け発表会

1・2時間目は全学級でICTを活用した授業を公開します。その中で、プログラミング的思考や情報モラルを育てる授業を見ていただきます。10時40分からは、アリーナにて、天沼小の研究報告と、プログラミング教育界、情報モラル教育界から第一人者をお招きして、パネルディスカッションを開催します。

詳細については後日、別紙にてご案内しますので、多くの方にご参観いただけたら、幸いです。

午後は、杉並区からのお知らせ等(右は案内チラシ)でも、ご存知かと思いますが、杉並公会堂で「杉並教育ICTフォーラム」と銘打って、全国に発信します。その第1部では、天沼小の研究が報告されます。参観希望の方は、杉並区のホームページでお申し込みください。

